

8人が参加し、和気あいあいの2024年東京都退職者会囲碁大会



昨年9月27日(金)午前10時から、「ナーベル御茶ノ水(教職員互助組合)」で囲碁大会が開かれた。今回は、都高教退職者会から7名、都退教協(義務制)からは1名の参加があり、和気あいあいの大会になった。今回もコロナ感染予防に気を配りながら、前年に引き続き、昼休みには実行委員が用意したお弁当を楽しむひとときもあった。

実行委員長の挨拶の後、今回の試合形式を確認して、競技は10時半から始まった。無差別クラスのAリーグのエントリーは無しにして、Bリーグ(2~5段)

が4人、Cリーグ(初段以下)は3人の総当たりでたたかうことになった。

Bリーグの結果

	岡田	槌田	福嶋	愛甲
岡田三段		×	×	×
槌田五段	○		○	○
福嶋四段	○	×		○
愛甲二段	○	×	×	

大会は、昼食休憩30分を挟んで午後2時近くまで熱戦が続いた。Bリーグは、午前中に2局が打たれ槌田さんと福嶋さんがともに2連勝で並び昼食後の決勝戦に臨むことになった。注目の一戦は、槌田さんが勝利し優勝に輝きました。福嶋さんは惜しくも準優勝でした。

Cリーグは、3人が全員1勝1敗となり、引き分けに終わりました。

Cリーグの結果

	谷口	西沢	佐藤
谷口四級		×	○
西沢初段	○		×
佐藤一級	×	○	

2025年度都高教退職者会囲碁大会のお知らせ

日 時 2025年9月26日(金) 10時

場 所 「ナーベル御茶ノ水」

で開催予定です。お誘い合わせの上ふるってご参加ください

東京散歩 「江戸東京たてもの園」を訪ねて



↑ 高橋是清邸

↓ 2.26 事件のあった部屋(かも)



はなく機械です。一人一人が入り口のタブレットで注文し、その場で清算する方式です。私たちは（別に大声で言うことでもありませんが）情報弱者の多い年配者の集団です。あたふたして他のお客様たちに迷惑をかけながら、なんとか昼食にありつきました。

19世紀20世紀に旅しながら21世紀を感じた（？）一瞬でした。（佐伯典子）



昼食をとったデ・ラランデ邸。注文はタブレットで。



建築家、前川國男邸。国会図書館などを設計した方。



正面は「子宝湯」。千住元町から移築された。

第11回 辺野古座り込みツアーへのお誘い

米軍普天間飛行場の野古移設設計画を巡り、1月29日、沖縄防衛局は埋め立て予定海域に広がる軟弱地盤の改良に向け、キャンプ・シュワブ東側の大浦湾でくい打ち作業を始めました。

新基地建設反対の闘いは、本土の問題でもあり、現地では安和・塩川港・そしてキャンプ・シュワブゲート前の3か所で、多くの高齢者、退職者が土砂の搬出・搬入に反対し座り込みを行っています。私たちも「あきらめないこと」を肝に銘じて、沖縄の人たちと共に、しなやかに、楽しく非暴力の闘いをしたいと思います。退職者の仲間たちと一緒に、辺野古座り込みに参加しませんか？

☆日 時 2025年6月24日(火)～6月26日(木)

6月24日(火) 名護市「ルートイン名護」付近の居酒屋で沖縄の退職者と懇親会

6月25日(水) 「ルートイン名護」を8時15分出発 → 辺野古座り込み(夜は懇親会)

6月26日(木) 「ルートイン名護」を8時15分出発 → 午前中、辺野古座り込み

午後は途中伊芸SAで昼食後、空港へ向かう。16時頃空港で解散。

☆集 合 6月24日(火)15時(できれば、14時半過ぎころ。早めにお集まりください)

☆集合場所 那覇空港1階到着ロビーの外「レンタカー送迎バス乗り場」

・空港到着口から出口に向かい横断歩道を渡り、中央分離帯のスペースにあります。

・都高教退職者会の旗を用意しますので、目印にしてください。

☆往復の飛行機について(各自)

各自でご予約ください。3ヶ月前なら往復27000円くらいです。

行き…6月24日(火)那覇空港に14時半までに到着できる飛行機

帰り…6月26日(木)那覇空港17時過ぎ出発の飛行機

☆宿泊について(各自)

・名護市のホテルを2泊、各自でご予約下さい。

・本部は、「ルートイン名護」なので同じホテルを予約されると便利です。

☆参加費 20000円(レンタカー・高速料金・ガソリン代・弁当・懇親会費用等を含みます)

退職者会総会にご持参ください。総会参加が難しい場合は集合時に徴収します。

☆その他

・総費用は65000円くらいかかります。

・沖縄では、「日焼け対策」として帽子・長袖シャツ・マスク・サングラスなどが便利です。雨の場合、雨具(上下)、ビーチサンダルがあると助かります。

・水分補給も非常に重要になります。

・座り込み現場からはトイレ送迎車が頻繁にでています。

問い合わせ・申し込み：河野亮玄(都高教退職者会幹事)

携帯 090-1469-4762

Mail ryogenk415@gmail.com

申し込み締め切り 4月末日



都高教・都高教退職者会・生きがい支援協会共催

憲法学習会『外国人労働者と入管法』(仮題)

日時 5月31日（土） 15時～16時30分
場所 日本教育会館 7階 701会議室
講師 指宿昭一さん



指宿さんのプロフィル

弁護士

入管を変える！弁護士ネットワーク共同代表

入管の民族差別・人権侵害と闘う全国市民連合代表

外国人研修生問題弁護士連絡会共同代表

外国人労働者弁護団代表

昨年7月、日退教(日教組の退職者会)関東ブロックの講演で、指宿弁護士のお話を聞いて強い感銘を受けました。ぜひ私たちの会でも講演をと、今回の講師をお願いしました。

お話しitただく概略を、下記に紹介します。指宿弁護士は、これらの問題に法律の専門家として、具体的・実際的な支援や運動の中心を担って来られました。法律・政府・制度・直接管轄する行政の問題点・差別構造に厳しく切り込むお話をしていただけると期待しています。(片山)

日本における在留外国人と外国人労働者の増加

名古屋入管ウィシュマンさん死亡事件

～その死に至るまでにあったこと。なぜ入管職員は起訴されないのか

入管問題 ～在留資格を失うとどうなるのか、送還を受け入れられない外国人(難民申請者、など)

難民認定制度の問題 ～日本の突出した認定率の低さ

収容の問題 ～無期限収容、長期収容、拷問的な処遇

仮放免の問題 ～就労禁止、移動の許可制、社会保険に加入できない

在留資格のない日本生まれ・育ちの子どもたちの問題

改悪入管法と反対運動 ～改悪入管法の問題点、反対運動が問い合わせたもの

外国人労働者問題 ～技能実習生に対する人権侵害、外国人労働者の立場の脆弱性、

技能実習制度廃止とその後の制度

外国人の人権が保障される社会を実現するために

お問い合わせ・参加申し込み

都高退事務局 片山 090-6135-0021 まで(申し込みなしでも参加できます)

成瀬巳喜男の映画② —日本映画が描いたもの— (4)

2025.3.10 アズキアライ

前回に続き、巨匠・成瀬巳喜男（なるせみきお）の映画です。今回は、女性の生きるたたかいを描いた名作5本をご紹介します。代表作「浮雲」や他の作品は、また次回に。

(1) 「女が階段を上る時」^{あが} (1960、脚本・菊島隆三、モノクロ、111分)

圭子(高峰秀子)は、夫を交通事故で失った30歳。銀座のバーの雇われマダム。圭子に入れ挙げてきた男の多くは、店で働いていたユリが新しい店を出すとき、持つていかれた。それは圭子が、男に身を許さないからだ。圭子はプライドと亡き夫への思いを胸に、意地を通す。

と、ここまで書くと、なんだしようもない風俗映画じゃないか、と言うことにもなる。

生きるたたかいの一つの姿

しかし、この映画の凄みは、風俗映画的な展開の中に、「女が生きる困難」や「女が舐めざるを得ない悲しみ」の深さと、そこから脱出できない「時代」がリアルに捉えられている点だ。圭子の兄は人が良くて、上司の犠牲となって公務員をクビになり、妻に逃げられ、小児まひの子と暮らす。その兄が圭子の人生をお金の重みで縛っている。そんな荷を背負った女の物語は、現代でも形を変えて、いくらもある話だろう。その濃厚な背景の中で、金をエサに言い寄る男たちとの駆け引きや、生きるたたかいを演ずる高峰秀子の目と全身の表現が凄い。

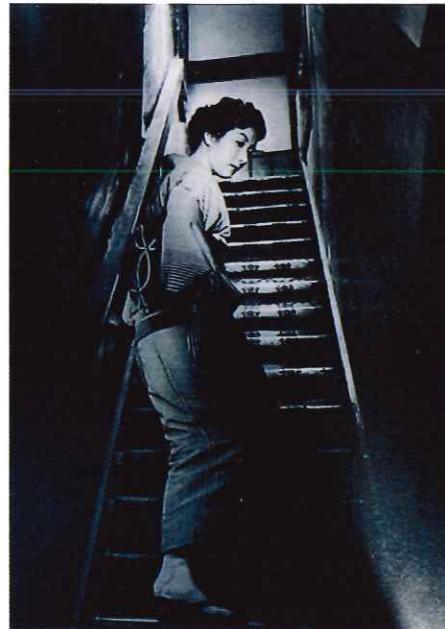
この映画、普通の意味での恋愛シーンはない。主演の高峰秀子は圧巻の美しさなのに、そして全編が男と女の関係を描いた映画なのに、ラブ・シーンと言えるほどのものはない。ただ一人好きな男・藤崎(森雅之)について体を許してしまうが、その場面もほとんど写さない。

プライド、聰明さ、気品、揺れる心。高峰秀子から目が離せない。

目が離せないドキュメンタリーのような傑作。背負う背景が女を脅かし、その中での小さな喜び、失意。現実との妥協で、誠実男(加藤大介)との結婚を決意し、実はとんでもない妄想男だと知った打ちのめされる失意。本気で好きになった男・藤崎は、家庭と仕事を守ることから脱しようとはしない。それでも圭子の生を支えるのは、自立する女のプライドであろう。

賢く、勝ち気で、それでも好きな男にはグラリと揺れる。高峰秀子がその美しさと気品と聰明さ、目の強さ、目の表現力をフルに生かした名演技で、私たちの心を離さない。粹(いき)で深みのある着物(衣装の担当は高峰自身)が圭子の肢体を包む美しさ。うなってしまう。

圭子を心から愛し、圭子を支え続けたマネージャー小松(仲代達矢)が氣の毒に思える。その仲代の演技も魅力的だ。登場する男たちの中では、一番まともで一番魅力がある。



「女が階段を上る時」高峰秀子

(2) 「流れる」(1956、原作・幸田文、モノクロ、116分)

原作者の幸田文は、1951年(昭和26)、一時期筆を折り、柳橋の芸者置屋で短期間だが女中をしたことがあるそうだ。すると映画の描く時代は1950年ごろ、戦後間もないころだ。

下町の花街、芸者置屋に女中として住み込んだ45歳の梨花(田中絹代)。今の女性たちよりずっと老けて見える。女将(山田五十鈴)から、ここでは「お春」と呼ぶと決められてしまう。その「お春」がこの日からここを去るまでに見る、滅びてゆくこの家の姿。観客は、お春の目を通して、この家の人たちの姿や言葉やふるまい(あがき、と言った方がぴったりくる)を見てゆくこととなる。そのお春の目、お春の言葉やふるまいは、情が深く温かい。

滅びゆくものを見つめる目

お春の目が見ることになったもの。それは、この置屋が借金に追い詰められてゆく日々、女将の苦しいあがきの日々だ。若い芸者がこの置屋から逃げ出してしまう事件。その芸者の兄が、示談金を強要に来る。女将の妹(中北千枝子)は、逃げた夫への未練を引きずって、幼い娘とともにこの家に居候している。女将の娘勝代(高峰秀子)は家業になじめず、仕事もみつからないまま屈折した日々を送っている。年かさの売れない芸者(杉村春子)の口癖の愚痴。一人売れっ子の若く美しい芸者(岡田茉莉子)も、ついには他の置屋に住みかえてしまう。

廃業が決定的になっても、経営者としては世間知らずの女将は、そのことも知らない。お春はそうした一つ一つに心を痛め、女将の妹の幼い娘をいたわり、母親より本気で看病する。家の中の誰にも心を配り、いたわり、女中として以上に気がつく。ぐるぐるとよく働く。控えめだが、この家の人たちを、母親のように支えている。

田中絹代が表現する温かさ、山田五十鈴が表現する深い悲哀

田中絹代は、『おかあさん』や、この『流れる』のような庶民の中年女性の心の美しさを演じる時が、いちばん魅力的だ。心の美しさが、目や口元にいつもじみ出ている。

観客は、「お春」の目と心を通して、滅びを目前にする置屋の人々を見つめてゆく。とりわけ、女将のあせりと悲哀、意地と誇り、その誇りも胸中に押し殺して昔の男にすがって金策をしようとする哀れな心。山田五十鈴が誇りと意地と貴録を、そして痛切な悲哀を演じて、人生の深い味わいを見せてくれる。なんと上手い女優さんだと感嘆してしまう。

ラスト近く、勝代が月賦でミシンを買って、経済的に自立して生きる仕事を得ようとするところでは、女が自立して生きることが困難な時代を、そしてそれに流されまいとする若い女性を描く。ささやかな新しい一步だが、勝代の将来に一筋の光が照らされる。

(3) 「放浪記」(1962、原作・林英美子、モノクロ、125分)

舞台で大ヒットした林英美子の自伝小説を映画化した作品。主人公は「ふみ子」(高峰秀子)。高峰秀子が、あえて美しさを削り捨てたメイクで、作家として名を成すまでの苦闘の人生遍歴を、渾身の熱演で見せる。二枚目の男(仲谷昇、宝田明)に惚れやすく、男のあからさまな身勝手や他の女との関係にも耐えて、一途に男に尽くす。男との恋がかなった喜色! その男に捨てられた悲しみ!! それらの一コマ一コマを、悲劇としても、むしろ喜劇として表現できる、高峰秀子という女優の、人生に対する深い洞察。

情けない男たち

宝田明が、文筆で生きようとして、実は女に寄生するしかない、それでいて倨傲な男を演じて上手い。

うますぎる。男の情けなさに、見ているこちらの居心地が悪くなるほどだ。貧しさと、世に認められない自分にイラ立ち、ふみ子にあたり、暴力まで振るう男を演じる宝田明がリアルで、男のやり場のなさも、女の切なさも、見ていて胸に迫る。

闘う人へと、歯ぎしりして転身する女

やがて、ふみ子は、男との関係より、作家として一人立ちする道を模索する。その歯ぎしりして闘う表情、悔しさと、「今に私は!」の思いが顔に出て、思いが強く響いてくる。「ふみ子」になり切る高峰秀子に心を掴まれっぱなしの映画だ。



「放浪記」高峰秀子

(4) 「あらくれ」(1957、原作・徳田秋声、脚本・水木洋子、モノクロ、120分)

成瀬巳喜男の映画の中で、飛びぬけて荒々しい人生を生きた女性の物語。舞台は大正時代。男運が悪く、親が決めた最初の夫の家からは婚礼の日に戻ってきてしまった「お島」(高峰秀子)。二度目の夫(上原謙)は色男だが、お島を田舎者とバカにし、「出戻り」と嫌味を言い、外に女を作る。夫とつかみ合いの大喧嘩の末、お島は階段から落ちて流産し、離別される。お島はまだ十代。上原謙のネチネチと嫌味を言う役が、あまりにぴったりで感心してしまう。

女が愛したのは優しい男だったが

その後、山の温泉地の旅館の女中として働くが、旅館の跡取り・浜屋(森雅之)は、妻が病気で家にいない。二人は関係を持つてしまう。この男は気は優しいが、二人の関係をきちんと形にできない(お島とも妻とも別れない)。お島はこの男に言う。「私は何もかも投げ出しているのに、あんた、かすり傷一つ負うの嫌なんですね。」浜屋の妻の病気が治ると、お島は東京に戻る。それでも、この男が死んだ後までも、お島にとって一番大切な男となる。

またも男の好色に、壮絶に荒くれる女

東京では、洋裁職人・小野田(加東大介)と結婚。苦労の末、店を持つと、小野田は怠け者になってゆき、二人は大喧嘩。それでも危機を乗り切り、店も大きくなってゆく。しかし店が栄えると、ここでも夫の好色。昔の夫の愛人だった女を、今の夫が「囮い者」にしている。

お島はその女の家を見つけ出し、踏み込んで、女と大乱闘。その帰り道、家も夫も捨てる覚悟を決めると、店で雇っている腕のいい若い職人(仲代達矢)を電話で誘い出す。この若い職人と新たな店を持つことにしたのだ。大正時代は開明的な時代であったとはいえ、現代とは違う。その時代にこの果斷さ。

時代を越えて自立する激しい女

時代を越えて自立する激しい女が描かれているのだ。ずけずけと言い、許せないとなったら、相手が男でも女でも、猛然と暴力にも訴える「あらくれ」ぶり。男に依存せず、「男を一人前になるようにするのが女」という気概と才覚(現代と違い、結婚が女にとって、特に学問など身に着けなかつた女にとって不可避だった時代である)。男に惚れやすく情も濃いが、独立心と才覚で世の荒波に立ち向かう女の魅力を、成瀬巳喜男と高峰秀子が、痛快に描き切った。

(5) 「鰯雲」(いわしごも、1958、脚本・橋本忍、カラー、129分)



「鰯雲」 淡島千景 中村鴈治郎

この映画の魅力は、自分の人生を自分で切り開こうと生きる女性の美しさだろう。淡島千景の出演作で、この映画の主人公がいちばん魅力があると思う。『夫婦善哉』より、さらによい。兄の役で、旧時代の男が時代に置いていかれる悲哀を演じる中村鴈治郎も心にしみる演技だ。

旧時代の人たち

成瀬監督の初のカラー作品。舞台は1955年(昭和30)を少し過ぎたころ。神奈川県厚木。当時は駅前も田舎、駅からバスに乗れば、どこも丸ごと農村だった。主人公・八重(淡島千景)は、夫が戦死した後も、婚家の農業を一人で守り、年老いた姑(しゆうとめ)の身勝手にくすぶる思いを抱きながら、中学生の息子を育てている。亡き夫と息子への愛情ゆえ、それしか選びようがなかった旧世代の女性だが、今いるところに根を張って生きる覚悟で、近隣でもいちはやく耕運機を導入するなど、新しい時代にも即応する賢明な女性だ。

八重の兄・和助(中村鴈治郎)は、旧大地主の当主という古い意識に縛られたまま、現実には農地解放で田畠のおおかたを失い、さらに戦後の時代の大波に、守ろうとする「家」も激しく揺さぶられる。

若い人たちの家からの自立を支援する八重

和助の長男(小林桂樹)・次男・三男は、次々に父の意に背く結婚や自立を決行してゆく。和助は当主としての誇りも意地も、子供たちへの愛情も踏みにじられる。父親に背く三人が相談し頼ったのが若い叔母・八重だ。そして自らの信念が突き崩され、孤立感に打ちのめされる和助が相談相手として頼ったのも、妹の八重だった。八重は兄の苦しい胸中を思いやる。

その八重は、厚木に赴任している妻のある新聞記者大川(木村功)との愛に自ら踏み込む。亡き夫の家と子を守るという旧世代の生き方に縛られてはいるが、その生活の外側に、自身の新しい運命、新たな生きる喜びを実現しようと、体当たりする八重。

だが、八重を愛した大川も、本社への転勤が決まると、妻と東京に新居を構える。関係を続けようとする大川との仲を、八重はきっぱり断念する。深い孤独感に八重も追い込まれながら、畑を耕し続ける。

背負った時代を引きずりながら、求めた自身の生命の輝き

時代の先頭を走ったわけではないが、旧世代の「重石」を引きずりながら、自らの人生を作り直そうとした八重の自立心。親の「枷」から自由な生き方を得ようとする甥たちを支援する八重。野良着姿とは別人のような美しい和装で、愛する男とともに自身の新たな生命を輝かそうとした八重の姿。八重に託した、監督成瀬巳喜男の思いに、深く共感する。当時多くの人たちが見たこの映画は、「庶民の生きた証し」、その熱い思いのこもった記録とも言えるだろう。

新入会員の皆さんへ

都高教退職者会へようこそ！

このたびは、都高教退職者会にご入会いただきありがとうございました。
幹事一同心より歓迎申し上げます。

都高教退職者会は、退職者の生活の安定と会員相互の友好を目的として結成され、1971年 の発足以来50年余の歴史と、約1800人の会員を有する組織です。

日退教（日本退職教職員協議会＝日教組の退職者組織）、都退協（東京都退職者協議会＝都職員の退職者組織）に加盟しており、地公退（地方公務員退職者協議会＝公務労協地公部会の退職者組織）の一員として25万人の仲間と共に様々な課題に取り組んでいます。

退職後の生活を支える年金・医療・介護については地公退や70万人の会員を持つ日本退職者連合が要求をまとめ、総務省や厚労省交渉に臨んでいます。

「平和」はすべての基盤です。

トランプ大統領の振る舞いは様々な次元で世界構造を揺るがせ、ウクライナ情勢も先が見えません。パレスチナにおいては、いったん「停戦」が実現したもののイスラエルのガザへの攻撃は続いています。ひとたび武力が行使されれば、際限なく人間を殺し、生活・環境を破壊しつくすという現実を私たちは目の当たりにしています。昨年の総会ではガザでの即時停戦を求める決議を採択し、在日イスラエル大使に直接送付しました。

同時に、「平和フォーラム・戦争をさせない1000人委員会」や「憲法改悪NO！平和を守る総がかり行動」にも参加し、5月3日の憲法集会にも参加してきました。また年1回「辺野古座り込みツアー」を企画し、辺野古での抗議行動にも参加しています。

脱原発も重要な課題です。政府はGX脱炭素電源法を策定し、さらにこの2月には「エネルギー基本計画」を改定して、老朽原発の延命や再稼働を推進しようとしています。私たちは学習会を開催するとともに、「さようなら原発」などの行動にも参加してきました。

課題の山積する社会状況ですが、「いのちと暮らし」を大切にできる、暴力のない、安心で平和な社会をめざして活動していくたいと考えています。会員相互の親睦をはかるために、メール後の懇親会、歴史散歩、お花見、囲碁大会なども行っています。

こうした取り組みの様子は、年2回ニュースを発行して、皆さまの元にお届けしています。興味を持っていただける活動があれば、ぜひご参加いただけたら嬉しく思います。

今後ともよろしくお願ひいたします。



2025年3月 都高教退職者会 幹事一同

あなたの 火災保険(共済)

家を買ったときに入ったまま になつていませんか？

あなたの大切な住まいや家財のために、今すぐ確認してみてください！

- 住宅(建物)だけ契約している(家財の補償がない)方

建物だけでなく
家財の契約も
大切です

たとえば落雷で家電が
壊れてしまったら…

家財契約がないと
補償の対象になりません！

教職員共済の
火災共済・自然災害共済は

「家財のみ」も
ご契約いただけます！

- 地震の補償はつけていない方
- 風水雪害の補償が十分でない方

火災共済に
自然災害共済を
付帯すると安心です

火災保険(共済)のみの
ご契約だと…

地震の補償はありません
風水雪害の補償は、契約
内容により異なります

教職員共済の
自然災害共済は

風水雪害補償 最高3,000万円
地震補償 最高1,800万円

- 住宅購入時に保険(共済)に加入しローンはそろそろ完済する方

ご契約内容を
一度きちんと
チェックしましょう

住宅ローンが終わると
火災補償を更新できないことも

今の補償内容・補償額を
チェックするとともに
満期日もご確認を

教職員共済の
火災共済・自然災害共済は

いつでも
お見積り・ご加入
いただけます！



※自然災害共済は、火災共済と同口数でのセット契約となります（単独ではご契約いただけません）。詳しくはお問合せください。

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧のうえ、制度内容をご確認ください。

火災共済・自然災害共済の掛金は、全国一律。 ぜひ資料をご請求・お見積りください！

イメージキャラクター
「あむりん」

お申込み・お問い合わせはこちら。ご相談だけでもお気軽にどうぞ！

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東京事業所

TEL:03-3230-0818 【平日9:00～17:30】

〒101-0003 事業所住所 千代田一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 5階

火災共済・自然災害共済を
動画で確認！
資料請求もできます！



教職員共済 | 検索
<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

承 23-企-52(2402)